2月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和6年2月21日（水）
開催時間	午前10時00分
開催場所	青少年センター 3階 集会室
出席委員	浦上 教育長 村本 教育長職務代理者 岩井 委員 藤井 委員
出席職員	原田副教育長・小山教育監・太田次長・木下次長・辻内次長兼生涯学習課長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・打抜教育センター所長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長・川口参事

【浦上教育長】 それでは、2月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

まず、本日の会議録署名委員に水野委員を指名しますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

{ 1月定例会会議録の承認 }

【浦上教育長】 では、次第の1、1月定例教育委員会会議録の承認について、審議をいたします。何か質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって1月定例会会議録につきましては、承認と決しました。

{ 1月30日臨時会議録の承認 }

【浦上教育長】 それでは、次第の2、1月30日臨時教育委員会会議録の承認について、審議をいたします。何か質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって1月30日臨時教育委員会会議録につきましては、承認と決しました。

{ 1月31日臨時会議録の承認 }

【浦上教育長】 それでは、次第の3、1月31日臨時教育委員会会議録の承認について、審議をいたします。何か質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって1月31日臨時教育委員会会議録につきましては、承認と決しました。

{ 教育長及び教育委員の報告 }

【浦上教育長】 それでは、次第の2、教育長及び教育委員の報告に移ります。まず、私の報告ですが、お手元の資料のとおりでございます。ご確認ください。

1月 22日 (月)	定例教育委員会
1月 26日 (金)	2024新春のつどい (八尾商工会議所)
1月 27日 (土)	西郡まちづくり新年会2024 (桂人権コミュニティセンター)
1月 28日 (日)	第36回八尾市綱引競技選手権大会 (八尾市総合体育館)
1月 30日 (火)	熱気球を使った授業 (授業見学・美園小学校)
〃	臨時教育委員会
〃	給食コンテスト最優秀賞献立試食会 (八尾小学校)
1月 31日 (水)	部長会
〃	臨時教育委員会
2月 1日 (木)	中河内ブロック都市教育委員会研修会 (柏原市)
2月 3日 (土)	新春八尾美会員展見学 (八尾市文化会館)
〃	ほっとはあとの会 (保護者会・不登校)
〃	節分祭追儺式 (八尾天満宮)
2月 4日 (日)	第22回 祝テトオープニングセレモニー (安中人権コミュニティセンター)
〃	
2月 5日 (月)	第2回中河内人事協議会 (大阪府中河内府民センター)
2月 7日 (水)	女性団体連合会からの義援金にかかる寄附採納 (立会)
2月 14日 (水)	竹渚地区人権研修会 (竹渚コミュニティセンター)
2月 16日 (金)	定例教育委員協議会
2月 17日 (土)	第13回八尾市小学生なわとび名人検定 (八尾市総合体育館)
2月 18日 (日)	みんなで創る「人権学習発表会」 (高美南小学校)
2月 20日 (火)	3月市議会定例会本会議(第1日)

【浦上教育長】 事前に私からお伝えすることがあります。水野委員が、まだ出席されていませんが、欠席連絡が無いと、遅れて参加されると思います。本日の議決は、定足数

を満たしているため成立していることを念のためお伝えします。

私から、何点か詳細を説明したいと思います。まず、1月30日（火）、美園小学校で熱気球を使った授業ということで、実は美園小学校の校長先生が熱気球のパイロットの資格を持っておられまして、子どもたちに実演をしようということで、校庭で自分が所有する熱気球にガスを入れて、およそ校舎の一番先端まで上昇されました。私も気球が飛ぶところを目の前で初めて見たのですが、子どもさんにとっては、とても良い経験になったのではないかと思います。当日、市長も出席されて、校長先生と市長と一緒に熱気球に乗って上まで上がりました。それも報告しておきます。

次に、同日ですが、給食コンテストの最優秀賞の献立試食会がありました。私も含めて教育委員さんも全員参加し、今年最優秀賞の献立を皆でいただきました。その際、最優秀賞を受賞した子にエールを送っておきました。「ええ献立作ったな」とか「これからも頑張っ家庭でお手伝いもして頑張りね」と言ったら、「すでに私やっています」と言われ、すごいしっかりした子でした。八尾小学校の6年生の児童でした。

次に、2月3日（土）、「ほっとはあとの会」を立ち上げました。現在、八尾市の不登校の子どもや学校に行きづらい子どもたちが、すこやかルーム、もしくは色々なオンラインの学習やバーチャル空間の居場所づくりを教育委員会で実施しています。そこに所属している子らの保護者を対象に初めてスタートしました。保護者の皆様方が安心できたり、同じ思いを共有したりする場ということでスタートさせたわけですが、後ほど、教育センター所長から一言コメントをいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、同じ日に、節分祭が行われました。毎年、八尾天満宮で豆まきをされるのですが、私も招待されて参加させてもらいました。多くの方が参加されて、八尾の伝統や文化を象徴しているような儀式でした。迫力もあり、皆様方も、ぜひ一度見学されたらいいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、2月14日（水）、竹淵地区の人権研修会がありました。私は当日、その研修会にお招きいただき、講話をさせてもらいましたが、今必要となっている子どもたちの居場所づくりが大きなテーマになっており、教育課題になっているいじめや不登校、ヤングケアラーなどさまざまな話もしながら、不安を感じている子どもたちへの温かい居場所が必要ではないかと、さまざまな居場所を各施設で作ってもらっているという話もさせてもらいました。アンケートにおいても、非常に良いお声もいただきまして、行ってよかったなと思いました。

最後となりますが、2月18日（日）、高美南小学校において、みんなで作る人権学習発表会がありました。1年生から6年生まで学年ごとに人権学習の発表をしていました。それぞれの発達段階に合わせた学校での人権学習の取り組みの発表の場ということだったのですが、それぞれの学年の子どもたちが一生懸命大きな声を出して発表してくれていました。低学年が、最後に1、2、3年生全員で合唱するというので、非常に良かったと思います。最後は、学校長の講評でした。私もすごく感動したのは、校長先生がおっしゃられた言葉です。「これは今日の日のための発表会じゃありません。これは毎日毎日、子どもたちに人権の大切さ、色々な分野での大切さを学年ごとに教え、1年間を通した形の成果として皆さん捉えてください。」という言葉であり、私もそう思います。本当に子どもたち一人ひとりが、人権って大事だなということを感じるからこそ、こういうふうに元気に発表ができるということだと思いました。非常によかったと思います。こうした機会

は、各学校でそれぞれあります。他のすべての学校でもありますので、指導主事の先生方も、できるだけそういう場に赴いて見られたら、今後のためにすごくいいと思いますので、よろしく願います。もちろん、行政職の方も機会があれば、見ていただいたら、今後の自分の仕事の励みになってくると思いますので、よろしく願いたいと思います。以上で、私の報告は終わります。

それでは続きまして、各委員の皆様方から、この間の報告をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【村本委員】 それでは、ご報告させていただきます。1月30日（火）、臨時教育委員会の後、八尾市小学校給食献立コンテストで最優秀作品に選ばれました八尾小学校の試食会に教育委員全員で参加しました。作品は、おいしいことはもちろん、栄養面、地元食材、彩り、苦手な食材でも食べられやすい等、多方面の配慮がされたすばらしい献立で心から感心しました。お正月以来、太りぎみでダイエットぎみの私でしたが、思わず大盛りのご飯まで完食してしまいました。

次に、2月1日（木）、令和5年度中河内ブロック都市教育委員会研究会に教育委員全員で参加しました。柏原市長より挨拶、柏原市教育長の開催挨拶、各市教育長並びに教育委員の紹介の後、場所を関西福祉科学大学内の立教館に移し、柏原市立歴史資料館の安村氏より「柏原市における文化財保護と活用の取り組みについて」と題した講演をいただきました。安村氏の郷土愛のこもった一般の歴史書とは違ったお話を興味深く聞かせていただきました。

その後、亀の瀬トンネルに移動し、国の亀の瀬地すべり対策の工事で偶然見つかった旧大阪鉄道の亀の瀬水道内でのプロジェクトマップングを見学しました。総レンガ造りのトンネル壁面全面に映し出された迫力満点の画像に感銘いたしました。

その後、柏原市役所に戻って17時前に散会となりました。

次に、2月2日（金）、亀井小学校で開催されました「令和5年度大阪府教育庁スクール・エンパワーメント推進事業 確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」公開事業研究会に参加させていただきました。研究テーマは、「親切すぎない支援とは よりよく問題解決しようとする児童の育成～『かく』『伝える』『いかす』～一主体的な学びを保障する教師の関わり一」でした。私はすべての教室を見て回りましたが、児童同士で意見を交わり、教え合う姿に、主体的な学びが実践されていると感じました。公開授業の後、分科会、最後に研究報告、パネルディスカッションと進みましたが、多くの若い先生方が参加されていて、熱のこもった研究会でした。以上、報告とさせていただきます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他の委員様方はいかがでしょうか。

【岩井委員】 今、村本委員からご報告いただいた研修会等に私も参加させていただきましたので、その時の感想をお話させていただきたいと思います。

1月30日（火）、八尾小学校を訪問して給食をいただきました。私は小学校におりましたので、給食は慣れていますが、最優秀作品の献立を見て一番驚いたのが、サラダの色鮮やかさでした。八尾特産の小松菜の緑、人参の赤、コーンの黄色が交じっていて、とても美しく、見ただけで食欲をそそりますし、1年生から大人、野菜が少し苦手

な人のことも考えて、カレー風味にしたというアイデアに感心しました。おしゃれですし、あまりにおいしかったので、提供いただいた献立表を見て、自宅でも作ってみたところ、家族にも好評でした。八尾のすべての6年生の子どもたちが、作る人や食べる人のことを思いやって、家族の協力も得ながら何度も試して作り上げたこの献立。その過程で学んだものは本当に大きくて、体はもちろん、心も随分成長させ、未来を生き抜く確かな力になったと思います。ぜひ、この献立コンテストは、家庭科の学習とも連携させながら継続、発展をさせていってほしいと願っております。

それから、2月1日（木）、中河内ブロックの研修会に教育委員の皆様と一緒に参加させていただきました。柏原市歴史資料館長の安村さんからのお話で、江戸時代、中河内地区の3市に亘る土木工事として「大和川の付け替え」の話がありました。大和川の付け替えの立役者は、中甚兵衛というふうにこれまでされてきましたが、資料の調査を進めるとちょっと違って、中甚兵衛が付け替えを幕府に訴えたのは事実だけれども、幕府はその時は「付け替えしない」と決定して終わっている。その後しばらく経ってから、幕府の方から、幕府の財政状況を考えて付け替えを決定したというのが事実らしいというようなお話を聞かせていただきました。聞いていた皆様は、今まで持っていた知識と随分違ったようで大変驚いておられました。私もとてもびっくりしましたが、お話は面白かったですし、八尾にも「大和川の付け替え」に関わる文化財や史跡がたくさんありますので、もっと色々なことを聞かせていただきたいなと思いました。毎年、八尾の小学校10校ぐらいは、4年生で大和川と柏原市歴史資料館へ社会見学で行かせていただいて、このような楽しいお話も聞かせていただいているとのことでした。

それから、2部は亀の瀬トンネルへ行ってプロジェクションマッピングを見せていただきました。最近、工夫を凝らしたプロジェクションマッピングがあることで人が集まって、観光や町おこしに一役買っているというニュースをよく聞きますが、身近なところで実際に見せていただいて、確かに魅力的だなと思いました。無料ですし、おすすめスポットだと思いました。以上、楽しい研修会でした。ありがとうございました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他の委員様方はいかがでしょう。

【藤井委員】 私も感想を中心にご報告させていただきたいと思います。まず、1月30日（火）、八尾市小学校給食コンテストの給食試食会に八尾小学校へ参加させていただきました。他の委員の皆様からのご感想のとおり、献立が非常にすばらしく、受賞者の児童とも直接お話させていただいたのですが、本当にしっかりしたお子さんでした。私が一番驚いたのは、夏休みに考えて応募されたということです。給食コンテストの結果が、冬場にあたる全国学校給食週間に設定されていて、この試食会も冬にあるということで、夏なのに冬場に食べるということを想定したメニュー、根菜を多く使って、体が温まるというところを考えて作られたということで本当にびっくりしました。この時だけではなく、日頃から家でもたくさんお料理をお母さんと一緒にされているのだろうと思いました。この児童は、本当にしっかりされたお子さんですが、教室や廊下での様子を見させていただいたら、あどけない姿もあり、友達と話している姿は6年生のお子さんだなという感じで少しほっとしました。とてもすばらしい取り組みですので、来年以降も楽しみにしております。

次に、2月1日（木）、令和5年度中河内ブロック都市教育委員会研究会に私も参加をさせていただきました。亀の瀬トンネルのプロジェクトマップは、申し込みをすれば無料で見学できるそうなので、八尾の人たちもたくさん見に行ってくれればよいなどというふうに思いました。それから、途中では、関西福祉科学大学の立教館で勉強させていただきましたのですが、地元の大学と柏原市が連携を取られているということがすごく分かり、地域での連携という取り組みは、すばらしいなというふうに思いました。

また、余談となりますが、移動は柏原市がバスを出してくださったので、移動時間にさまざまなコミュニケーションを取り、貴重な情報交換の場にもなりました。私からは、以上です。

【浦上教育長】 今、教育委員の皆様からご報告いただきましたが、特に大和川の付け替えの話は、びっくりしました。歴史や文化というのは、その時どうだったかというあたりが文献上で知らされていきますが、定説といいますか、絶対こうだということは、ちょっと分からなくなりました。しかし、八尾の子どもたちに、しっかりと大和川の付け替えの話をする必要があるので、私も思っているのは、社会科を教える側の指導者の先生方に研修の機会を持ったほうがよいなど、そのとき思いました。要するに定説ありますが、こんな事もありますよとか、そういう子どもたちに夢を与えるような、すごい興味関心を持てるような授業づくりをしてもらえたらありがたいと思っています。研修については、教育センターの方をお願いしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

もう一つは、給食の件について皆さんお話していただきましたが、大阪府の学校給食会というのがあります。各市町村が参加している大阪の学校給食会においても、献立コンテストを実施していました。私が前回教育長をしているときに給食会の理事長を務めていました。2年間担当し、鮮明に覚えているのは、八尾は給食の献立を考えて出品していることが非常に多いということです。なぜならば、八尾の学校の栄養士や栄養教諭の方々が、頑張っているおかげだと私は思っています。今後も引き続いて八尾の子どもたちが、献立をしっかりと考えて興味関心を持てるようにしてもらえたらと思います。

それでは、先程お話をさせていただいた「ほっとはあとの会」について、教育センター所長より追加説明を簡単をお願いします。

【打抜教育センター所長】 それでは「ほっとはあとの会」について、説明いたします。「ほっとはあとの会」とは、保護者同士の交流を中心に、心がほっと落ち着く一時を過ごしていただき、保護者にとっての癒しの居場所となることを目的として、教育センターの「ほっとはあとルーム」において実施いたしました。内容としては、浦上教育長のご挨拶に始まり、八尾市スクールソーシャルワーカー中村さんの講話、保護者同士の交流を行いました。スクールソーシャルワーカーの中村さんは、ご自身のこれまでのご経験からお話していただくだけでなく、ファシリテーターとしての交流にもご参加していただきました。今回は初めての開催ということもありまして、対象の保護者を教育センターと関わりのある保護者にご案内させていただいております。具体的には、さわやかルームに通室する児童生徒の保護者の方、教育センターの居場所「ほっとはあとルーム」を利用する児童生徒の保護者の方、オンライン学習支援及びオンラインの居場所に登録している児童生徒の保護者の方を対象に行いました。

当日は4名のご参加がありまして、ご参加いただきました保護者の方々からは「同じ悩みをもつ親の意見を聞けて、とても心が軽くなった」や「1人で考えてしまうことが多いが、同じ悩みをもつ方々と会うことができてほっとしました」といった感想をいただき、改めて保護者支援の大切さを感じました。以上でございます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。これから回を重ねていってもらうと思いますが、更に保護者の皆様方が多く参加してもらうようお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

他には、特にないですか。ないようであれば、次に進みたいと思っております。

{ 議案審議 }

【浦上教育長】 次第の5、議事に入ります。請願第1号「令和6年度の特別支援教育をすすめるにあたっての請願の件」について、審議いたします。小山教育監、川添教育政策課長、打抜教育センター所長は前の席へお越しく下さい。

それでは、請願第1号「令和6年度の特別支援教育をすすめるにあたっての請願の件」について、審議いたしますが、先に請願の取扱いについて、お諮りさせていただきます。令和6年2月5日に提出されましたこの請願第1号につきましては、八尾市教育委員会会議規則及び八尾市教育委員会請願等取扱要綱に規定されております要件を満たしておりますことから、同規則第25条第1項の規定によりまして、その処理について、先の定例教育委員協議会において、教育委員の皆様と、要綱第7条の規定の方法に基づき、ご協議させていただいたものでございます。本日は、その協議のとおり、審議を進めたいと思っておりますが、あらためて、その手順についてお諮りします。

本請願につきましては、請願第1号全体について、教育委員会事務局から概要報告を受けたのちに、担当課の見解を述べさせていただき、教育委員の皆様とともに審議いたします。なお、同規則第25条第2項の規定に基づく、請願者の説明については、請願書に詳細に記載されておりますので、協議のとおり説明を求めません。委員の皆様、よろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 それでは、ご異議がないようですので、そのように進めたいと思っております。それでは、川添課長より、請願第1号全体の概要について報告願います。

【川添教育政策課長】 ただいま議題となりました請願第1号「令和6年度の特別支援教育を進めるにあたっての請願の件」について、概要報告をさせていただきます。

本件は、令和6年2月5日に受理した請願につき、八尾市教育委員会会議規則第25条第1項の規定により、委員会に諮るものでございます。請願者は、服部氏と馬場野氏の連名での提出でございます。請願事項につきましては、

- 1 2022年4月27日付の文部科学省通知に関わり八尾市教育委員会の特別支援教育の基本的立場が従来の立場と同じであることを改めて確認すること。

- 2 特別支援学級で学ぶ児童・生徒を授業時数のみを基準に一方向的に排除することをやめ、子ども保護者との合意を大切にすること。
 - 3 八尾市内のすべての小・中学校で通級指導教室を開設すること。
 - 4 特別支援学級、通級指導教室での学びについて、八尾市教育委員会が現在ホームページに掲載している「特別支援教育について」「通級指導教室について」「学びの場を検討するQ&A」の内容にそった対応し、子ども・保護者・学校教職員など関係者に周知すること。
 - 5 来年度（2024年度）以降も、1の立場を守ること。それを子ども・保護者・学校教職員など関係者に周知、徹底すること。
- であり、請願理由につきましては、お手元配付の請願書のとおりでございます。請願に関する概要報告については、以上でございます。

【浦上教育長】次に、請願第1号全体についての見解を、打抜教育センター所長から説明願います。

【打抜教育センター所長】それでは、請願第1号「令和6年度の特別支援教育をすすめるにあたっての請願の件」につきまして見解を申し上げます。

まず、請願事項1の2022年4月の文部科学省通知に関わり八尾市教育委員会の特別支援教育の基本的立場が従来の立場と同じであることを改めて確認することについてですが、文部科学省通知は、「障がいのある児童生徒の自立と社会参加を見据え、一人ひとりの教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できるように取組みを推進するもの」で、本市としてもこれまで進めてきた「共に学び、共に生きる」教育を基本としたインクルーシブ教育を推進する方針に変わりはないと考えております。

次に、請願事項2の特別支援学級で学ぶ児童・生徒を授業時数のみを基準に一方向的に排除することをやめ、子ども保護者との合意を大切にすることについてですが、児童生徒の学びの場につきましては、当該児童・生徒の障がいの状況や特性、心身の発達の段階等を確認し、教育的ニーズと必要な支援について、保護者や本人、学校と教育委員会が合意形成を行いながら決定しております。

次に、請願事項3の八尾市内のすべての小・中学校で通級指導教室を開設することについてですが、市独自での通級指導教室の設置は人材の確保や専門性の担保等さまざまな課題があると認識しており、本市としましては、今後国の基礎定数化の動向を注視しつつ、国の基準に則って設置していくことを考えております。令和6年度の通級指導教室の設置については、利用ニーズが一定数ある学校への設置をめざして各学校から聞き取りを行い、自校通級ができるよう府へ強く要望しております。ニーズが少ない学校においては、近隣学校等との巡回指導体制を組み、市内どの学校においても自校で通級による指導が受けられるよう、体制整備に努めております。

次に、請願事項4、ホームページに掲載している内容にそった対応をし、子ども・保護者・学校教職員など関係者に周知すること、請願事項5、来年度以降も1の立場を守ること、それを子ども・保護者・学校教職員など関係者に周知することについてですが、今後も「共に学び、共に生きる」教育を基本としたインクルーシブ教育を推進する方針に

変わりはありません。子ども・保護者・学校教職員など関係者への周知につきましては、引き続き市ホームページに「八尾市の特別支援教育について」及び「通級指導教室について」のリーフレットを掲載するとともに、さまざまな質問に対応するためのQ&Aも掲載しております。また、令和4年10月に教育長の動画によるメッセージをホームページに掲載し、市民に周知しております。学校教職員へは、研修等の機会を通じて特別支援教育、通級指導教室についての周知を行っております。以上でございます。

【浦上教育長】 ただいま、請願第1号の見解の説明がございました。委員の皆様から質疑等ありましたら、よろしくお願ひいたします。

【岩井委員】 請願書は、しっかりと読ませていただきました。私は、請願事項が5つありますが、今、打抜教育センター所長からのそれぞれの見解を聞かせていただいて、いずれの事項についても、これまでから言われていることと何ら変わりはないというふうに思いますし、その方針、方向で一貫して取り組みを着実に進めていただいているのではないかと私は思います。

そういう意味から、この請願についてはこれまでと変わりなく着実に進めていただいているというようなことで、不採択ということではないかと思ひます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他の委員様は、いかがでしょうか。

【村本委員】 まず請願事項1について、改めて確認するということですがけれども、すでに色々な取り組みを進めていただいているのではないかなというふうに私は思ひますので、こちらについては不採択で良いのではないかというふうに思ひます。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他の委員の皆様は、いかがでしょうか。

【藤井委員】 私も請願事項1についてですが、今後も変わらず進めていくという話を打抜所長からお聞かせいただきましたので、こちらは不採択で良いと思ひております。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にご意見等ないでしょうか。以前にも同様の形の請願を出していただいたのですが、請願事項4・5は、周知方法等についてだと思います。委員の皆様からも他にご意見ないようですので、採決に移りたいと思ひます。全体を包括的に考えてもらひ、採決をお願いしたいと思ひます。

請願第1号のうち、請願事項1につきまして、特別支援教育の基本的立場が従来の立場と変わりがないため、不採択とすることにご異議ございませぬか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 それでは、請願事項1につきまして、不採択とすることに決しました。次に、請願事項2でございますが、これも私が教育長就任当初から実施しており、議会でも答弁させてもらっていますし、ホームページでも私の考えや八尾市の特別支援教育の

方向性を紹介もさせてもらっています。それは、やはり合意形成がないと駄目だということで、本人の学ぶ場、そして本人や保護者のニーズ、そのあたりをしっかりと学校で捉えながら、保護者そして子どもたちと話をし、最終的には合意が成されないと駄目ですよという話は従来から行っています。これも変わりありませんので、この辺も委員の皆様も同じように思われておりますので、不採択とすることにご異議ないでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 それでは、請願事項2につきまして、不採択とすることに決しました。続きまして、請願事項3です。今後、国の基準にのっとって設置をしていくためということですが、請願事項3につきましては、通級指導教室も昨年度、早々議論を交わしまして、本当に子どもたちの学ぶ場が支援学級でいいのか、通常学級でいいのか、また通常学級に在籍したとしても通級指導を受けたいなどの希望も重々聞きながら進めてきました。ですから、八尾市において通級指導教室は小学校でも中学校でも、かなり増えました。そういう意味におきましても、これもすでに実施しておりますので、不採択とすることにご異議ないでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 それでは、請願事項3につきまして、不採択とすることに決しました。続きまして、請願事項4・5について、担当課でホームページに掲載するなど周知した上で対応はしております。先程から何度も私言っていますが、やはりこれをしっかりとこれからも周知する必要がありますし、まだまだ悩んでおられる方もおられます。また、これから小学校1年生として入学する子どもたちのことも考えていく必要があります。そういう意味においても、すべての保護者に対して周知を徹底していく必要があると思っておりますので、請願事項4・5につきましては、不採択とすることにご異議ないでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 それでは、請願事項4・5につきまして、不採択とすることに決しました。小山教育監、川添課長、打抜所長は自席へお戻りください

【浦上教育長】 続いて、議案第7号「八尾市立学校の管理運営に関する規則の一部改正の件」について、審議いたします。提案理由の説明を木下次長よりさせていただきます。原田副教育長、木下次長、川口参事は前の席へお越してください。

【木下次長】 それでは議案第7号「八尾市立学校の管理運営に関する規則の一部改正の件」につきまして、ご説明申し上げます。

本件につきましては、教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2号の規定により、委員会の議決をお願いするものです。提案の理由ですが、八尾市立学校の学校事務についての共同学校事務室の設置に関する規則を制定するにあたり、本案を提出するもので

す。

学校事務職員については、平成29年3月に、学校教育法の一部改正により事務職員の職務規定が、「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に改められ、より主体的・積極的に校務運営に参画することが求められております。また、同じく平成29年3月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、「共同学校事務室」を制度化し、事務の効率化などの推進が求められております。

本市では、中学校区単位で、校区内の複数の学校事務職員が共同・連携して業務を行う、学校事務の共同実施を行っておりますが、事務を共同処理することで、学校間の事務の標準化、教材などの共同購入による調達コストの削減、学校事務職員間のOJTによる育成および資質の向上など、事務処理の更なる効率化および質の向上を図ってまいりました。

今回、さらに大きな組織にて、学校事務業務を行う事ができるようにするため、本規則改正を行うものとなります。

本市においては、中学校区単位での学校事務の共同実施が浸透している現状があるため、今回の改正を受けて、すぐに4つの共同学校事務室を設置することは行いませんが、将来的に、要綱案に記載の組織体制にて、市内各校の学校事務をすすめてまいりたいと考えております。

それでは、改正規則(案)、新旧対照表をご覧ください。第4条の7の次に、次の1条を加えるとして、第4条の8にて、共同学校事務室について、組織、構成職員、処理する事務等を記載しております。また、第6項で、その他必要な事項については、委員会が別に定めるとしております。なお、施行日は、令和6年4月1日としております。参考として、八尾市共同学校事務室に関する設置要綱(案)を添付しております。以上、説明を終わらせていただきます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますよう、お願い申し上げます。

【浦上教育長】 ただいまの説明にございましたけども、その背景に関わって質問等ございませんでしょうか。

【岩井委員】 確認になりますが、中学校区の事務の共同実施を拡大して、今回、共同学校事務室を設置するということですが、それによってどのような効果が期待されるのでしょうか。

【木下次長】 まず、大きな枠組みになるということで、これまで中学校区単位であれば、多くても数名単位での活動になっていました。さらにその枠を広げる中で学校事務職員の方々の研修等でも出てきていたのですが、同じルールのもとで事務を進める中での効率化や、キャリアがさまざまであるため、特に経験の浅い方への支援というのが中学校区単位では限界もあります。もう少し大きな枠組みで、複数名による支援を行うことで、より効率的な資質向上や学校事務運営ができるというように考えています。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【藤井委員】 例えば私が事務職員さんだったとしたら、より広い範囲からこれまで以上

に4ブロックに分けてということで、たくさん相談ができる人が増えるという意味で、とても良いのではないかという感想を持ちました。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【村本委員】 私も大変良いことなんじゃないかなと思いました。1人でおられると、何かと困ったこととかもあると思うので、こういう何人か集まって、そういう場を持たれるというのはすばらしいことだと思いました。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。学校現場の事務職員は、非常に膨大な仕事をされています。私もずっと学校にいましたが、何から何まで事務職の人をお願いしていました。たった一人で事務を処理していくことは、とても大変だと思いますが、今回の件で助け合って進めていけるということは、すごくありがたいことかと思います。学校現場に居た立場として、木下次長はどう感じますか。

【木下次長】 私も現場に居たとき、学校事務の方にさまざまな場面で頼っていた部分がありました。さまざまサポートしていただくという形が多くありましたし、また会計処理や物品発注などの事務処理を一手に受けていただいていたのでした。今後、複数名で助け合うことによって、お互いの課題などを共有し、より機動的な学校運営に役立つというふうに私自身も考えているところです。

【浦上教育長】 ありがとうございます。川口参事は昨年度まで教頭職に就かれていたので、より現場に近い立場から話をしてくれませんか。

【川口参事】 私も昨年度まで現場で教頭の立場でおりました。特に金融の関係、郵便局や銀行と折衝、書類の整理など、そのあたりのところは、やはり事務職の方が専門性をお持ちですので、整理していただきながら、また決裁等はもちろん管理職が行いながら、細かい書類の作成や調整の中心になっていただいております。非常に助かったというところがありました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。これまでの話をまとめると、共同学校事務室の設置は学校運営に寄与するものであるということで、考えていただいているかと思います。それでは、議案第7号につきまして、原案のとおり可決としてよろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、議案第7号「八尾市立学校の管理運営に関する規則の一部改正の件」につきましては、原案どおり可決いたしました。原田副教育長、木下次長、川口参事は自席へお戻りください。

{ 報告事項 }

【浦上教育長】 それでは、次第の6、報告事項に入らせていただきます。報告事項①「令和5年度4月から12月末までの八尾市のいじめの状況について」、齊藤人権教育課長より報告させていただきます。小山教育監、齊藤課長は前の席へお越しく下さい。

【齊藤人権政策課長】 令和5年度の4月から12月末までのいじめの状況について、学校に実施した調査結果と、いじめから子どもを守る課で受けた相談内容をもとに、両課で共有した内容をご報告いたします。資料をご覧ください。なお、小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含んでおります。

それでは、いじめの認知件数の表をご覧ください。令和5年4月から12月末までのいじめの件数を校種ごとにまとめたものです。参考として、右に昨年および一昨年の件数も記載しております。小学校は1,448件、中学校295件の計1,743件となっており、昨年度と比較すると、7月末までの状況同様、小学校では減少、中学校では少し増加、全体の件数は減少となっております。ただし、7月末からの増加率は、ほぼ例年同様となっております。小学校の減少に関しては、1学期に引き続き、12月までの認知件数も減少していることから、丁寧な集団づくり、特に新学年の開始期に進めたことに加え、学校におけるいじめ防止の取り組みの成果が表れてきていると考えております。今後も、しっかり児童生徒の関係性の把握に努め、積極的にいじめ認知を行う必要があると考えており、丁寧に注視してまいりますと考えておりますが。なお、いじめから子どもを守る課への相談については、八尾市いじめ相談専用ダイヤルへの相談や手紙相談に加え、9月以降に順次モデル校13校に導入した「いじめ報告相談アプリ」による相談も一定数ございます。「いじめ報告相談アプリ」についても相談窓口のひとつとして、次年度は全校に導入できるよう進めております。今後も認知件数や相談件数を注視してまいります。

続いて、「学年別認知件数」の円グラフをご覧ください。上段が、人権教育課が把握している小学校の認知件数、下段がいじめから子どもを守る課への相談人数を表しており、それぞれ左の円グラフは小学校、右側が中学校となっております。中学1年生の割合が高い傾向がみられます。特に今年は、昨年に比べて千人率も増加しており、先ほどお伝えしたとおり今年度の中学校認知件数の増加の理由となっております。中学校進学に伴う環境や人間関係の変化に際し、より丁寧な集団づくりが求められると考えております。いじめから子どもを守る課への相談人数についても、人権教育課同様、交友関係や行動範囲の広がりにより人間関係に変化が出やすい4年生以上の高学年や中学校1年生、あるいはその保護者からの相談が多い状況がございます。

続いて裏面の「態様別認知件数」をご覧ください。各態様の上段が今年度、中段が昨年度、下段が一昨年度の件数を示しております。小学校、中学校ともに、これまでの傾向と同様、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」と回答した児童生徒が最も多く、次いで、「ぶつかる、たたく、蹴られたりする」という身体接触を伴う被害を訴える児童生徒が多くなっている傾向は変わっておりません。また、中学校になると、「パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる」と回答する生徒の割合もこれまでの傾向通り3番目に高くなっております。今後も引き続き、「児童生徒間でコミュニケーションを取っているつもりでふざけ合いととらえるような事象や、言葉や身体接触によ

る悪ふざけでも相手が精神的、身体的に苦痛を感じた場合はいじめに該当する」という意識の醸成と、情報モラル教育を推進してまいります。

続いて、「いじめ発見のきっかけ」の表をご覧ください。上段の表が今年度、下段の表が昨年度の結果でございます。例年と同様、小学校、中学校ともに、アンケートでいじめ被害を訴える児童生徒が最も多くなっております。昨年度の同時期と比べ、小学校の割合で見ますと、どの項目も昨年とほぼ同様の傾向となっております。中学校においては、①「アンケートを除いた本人からの訴え」が45件増加しており、全認知件数に占める割合で見ても昨年度より約11%増加していることから、教職員との関係づくりや相談体制の充実が図られているのではないかと分析しております。今後も「誰かに相談する」という意識の向上および学校としてもいじめを相談しやすい体制のさらなる充実を図っていくとともに、ささいなトラブルに見える事象であっても教職員が丁寧に子どもたちの状況を把握し、いじめの積極的認知に努め、児童生徒との信頼関係を築くきながら児童生徒のSOSを早期に受け止めることで、いじめの未然防止、早期発見につなげていきたいと考えております。報告は以上でございます。

【浦上教育長】 何か報告に対して感想とか疑問とかありましたら、お願いします。

【岩井委員】 各学校においては、いじめを生まない環境づくりや集団づくりに日々、一生懸命取り組んでくださっていることに、本当に敬意と感謝を表します。ありがとうございます。また、今回は2学期を終えた時点の事務局からの報告ということで、いつも丁寧に報告していただいてありがとうございます。

感想となりますが、1学期の報告を受けたときにも申し上げたとおり、脱いじめ傍観者教育が4年目に入って、今年度の1学期の実施分を終えた時点で、八尾市では小学4年生以上の子どもたち全員が脱いじめ傍観者教育を1回は受けたということになります。その中で、子どもたちは自らが行動することによって状況が変わる、学級の雰囲気も変えることができるという学びをしていますので、嫌だなと感じていることがあったらアンケートに書いたり、本人自身が訴えたり、相談したりして、自ら行動して問題解決を図ろうとする力が育ってきたことが、小学校では認知件数の減少、中学校では認知件数の増加として今回の報告の数値に表れてきているのではないかと、私は変化をプラス方向で捉えております。

それから、先日の新聞に門真での中3の生徒の自殺とSNSを使った中傷等に因果関係が認められたという記事が大きく載っていました。この手元の資料を見ましても、八尾の中学校でもパソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる、それから冷やかしかやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるというような件数が結構多いです。八尾は、これまでからも情報モラル教育に力を入れていただいていますけども、SNSを含むネットいじめは非常に発見しにくいですので、さらに研修などに力をいれたいなど思っております。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。今の感想に対して、事務局いかがですか。

【齊藤人権教育課長】 本課の教職員研修においても、必ず事例の中でネットいじめのこ

とを挙げながら、教職員が意識を高くもって対応できるように未然防止、早期発見に努められるように取り組んでいるところです。これからも、その観点でしっかりと研修を進めてまいりたいと考えております。

【浦上教育長】 小学校と中学校の態様別認知件数を見ていると、比率で言えば、小学校でパソコンや携帯電話の誹謗中傷というのは、すごく少ないです。下段の中学校を見ると、比率でいえば非常に高くなる。この結果から、やはりパソコン、スマホ、タブレットを使っているという現実が分かります。だから、本当にこれから、ますますこれがひどくなっていくと私は予想しています。学校に対しても、危機感をしっかり持って子どもにも指導しなければいけませんし、保護者に対しても小学校高学年ぐらいから、そのあたりのことをしっかり伝えていかなければならないと私は思っています。私が実際に学校の校長であれば、必ずそうします。そうしなければ、状況はどんどん悪くなります。本当に危機感を持つべきであると思いますし、正しいことを子どもや保護者に伝えてくことが教育委員会の務めだと思しますので、そのあたりよろしく願います。もうすぐ4月となり、新年度となりますので、しっかりそのあたりの話をしてほしい。私も校長会で話をしたいと思っていますが、やはり所属長がリーダーシップを取ってほしいと思っています。齊藤課長いかがでしょうか。

【齊藤人権教育課長】 来年度は、ネットモラルということについて、各学校で危機感をもって取り組むようにということを知する予定です。

【浦上教育長】 よろしく願います。他の委員の皆様方はいかがでしょうか。

【村本委員】 この表のいじめの発見のきっかけの中で、特に中学生ですが、本人からの訴えというのが40から85というふうに増えていますが、先程ご報告いただきましたように、色々なことをやっていただいております。それは内容的には軽微なものが増えているのではないかと私は推察しているのですが、これからも地道な努力になりますけれども、継続していただき、数字も何とか減ってくるように頑張っていたらというふうに思いました。よろしく願いたいと思います。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。事務局から何か感想はありますか。

【齊藤人権教育課長】 態様別認知件数を見ると、今年度は中学校では軽微な冷やかしやからかいといった部分が大変増加をしています。やはり初期段階でしっかりと子どもたちが教職員に自分から相談をできるような信頼関係の構築について、しっかり今後も周知してまいりたいと考えています。

【村本委員】 よろしく願います。

【浦上教育長】 他の委員の皆様方はいかがでしょうか。

【藤井委員】 詳しいご報告、今回もありがとうございます。いじめ相談アプリの方、一定の導入効果が認められるということで、次年度は今後に向けてということで、それは非常に期待できることだと思っておりますので、よかったなと思っております。

子どもが助けてと言える環境の整備などが、一生懸命みんなで頑張っていていただいていると思いますので、後は子ども自身が助けてと言える力を養うことがすごく大事なことだと思います。今後も、引き続きそういったことを子どもたちと意思を共有しながら続けていただければと思うのですが、もう一つ忘れてならないのは、それを大人が受け止める力が非常に大事だと思います。同時に子どものSOSをどれだけ早く見つけられるかということが、今後も課題として学校、家庭と情報共有しながら取り組んでいただければなというふうに思います。

後は、やはりSNSです。ネットいじめは、私もすごく気になっているところでして、大人が思っている以上に言葉がすごく軽くなったと感じます。某市の新聞報道でも出ていたネットでのやり取りが非常に衝撃的ではあるものの、私も子どもに聞いたら別に普通にあることぐらいの、そのネットの中で広い意味でインターネットの中で子どもたちが見ているサイトの中では、そういったようなこともやり取りというものはあるというふうに聞いていて、言葉の重みみたいなところも子どもたちにもう一度伝えていくことができたらいいなというふうに思います。言葉を発している側は、それほど深い意味はないというか、いじめとまで認識していないことも結構あるのではないかなと思うのですが、でも実際にはすごくひどいことで、ひどいと分かっているのに言っているのであれば、まだ反省とかも促せると思うのですが、気付いていないというところが一番問題になってくると思います。言葉の重みを教えるような機会も、今後も引き続き取り組んでいただければなというふうに思いました。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。さまざまな取り組みを教育委員会もやっていますし、市長部局も子どもを守るために頑張っておられます。お互いに連携しながら進めていきたいと思っておりますので、委員の皆様方もよろしくお願ひします。

ほかにご意見がございませんようですので、この件は終わりたいと思います。小山教育監、齊藤課長は自席にお戻りください。

その他、事務局から何かあるでしょうか。

【事務局】 ありません。

【浦上教育長】 水野委員が出席予定でしたが、現時点で到着されていないため、本日は欠席扱いにさせていただきます。委員の皆様、よろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 それでは、以上をもちまして、2月定例教育委員会を終了します。

(署 名) 浦上教育長

岩井委員